

受賞者報告



【日本書芸院展】

- ・書芸院大賞 中川翠玲
- ・特別賞 中間翠洸
- ・準特別賞 富田蒼月
- ・特選

- 伊部芳翠 木村静宵 木村香雪
- 川田幸洲 日下部雅苑 田附湖蝶
- 一科会員推薦賞

- 引間京華 河野翠風 井上照華
- 二科会員推薦賞
- 野口虹翠 龍後遊汀 橋本翠遊

【第三十一回玄心書道展】

- ・玄心賞 改發蒼風
- ・神戸市教育委員会賞 木村香雪
- ・書人賞 木村香雪 宮崎恵舟

【第三十四回 読売書法展】

- ・特選 木村香雪
- ・秀逸
- ・入選
- 中間翠洸 伊部芳翠 宮崎恵舟
- 改發蒼風 木村静宵
- 井狩遊雪 玉木桂華 日下部雅苑
- 河野翠風 井上照華 織田蒼雪
- 川田幸洲 土田純香 人部京翠
- 引間京華 内山暢聡

◆ 生徒部八段位昇段試験 合格者 ◆

		(平成二十八年十一月実施)	
中一	前川愛実	毛筆	湖城教室
中二	湯川万由子	硬筆	"
		(平成二十九年三月実施)	
中三	中村 暢	毛筆	能登川教室
中三	野田唯花	硬筆	守山駅前教室
中一	佐伯祥子	毛筆	"
中二	米原真衣	毛筆・硬筆	若草教室
中二	佐々木乃愛	毛筆	湖城教室
中三	芝原優花	毛筆	"
中三	藤田彩花	硬筆	"
中三	泉田春香	硬筆	"
中三	北川穂乃佳	硬筆	"
中三	馬越康輔	毛筆	下豊浦教室
中二	山本悠乃	毛筆	久野部教室
中二	桑原百花	硬筆	"



↑玄心展授賞式にて

おめでとうございます!!



◎生徒部八段位を合格された方の中から、今回お二人の作文課題を掲載させていただきます。

わたしと習字 中一 守山駅前教室 佐伯祥子

私は、小学三年生のときに習字をはじめました。はじめは、バランスがうまくとれなくて字の形がめちゃくちゃでした。でも、先生に教えてもらい、練習していくうちに整った字が書けるようになりました。初めて観峰賞をとったときはとても嬉しかったです。

しかし、その先生が教室を閉めることになり、新しい教室に通うことになりました。新しい教室、新しい先生ということもあり、初めは不安でいっぱいでした。でも、先生が優しく丁寧に教えて下さったおかげで、その不安はすぐになくなりました。今では楽しく通うことができています。習字を始めてから、字を書くことが好きになりました。また、字がきれいだねと言われることが多く、嬉しく思っています。これからも練習に励み、更に上達できるように頑張ります。

わたしと習字 中三 湖城教室 芝原優花

わたしは、小さい頃から習字を習っています。初めは全然うまく書けなくて悩んだりもしました。それに、わたしはやんちゃな女の子だったので、習字教室に行っても墨でらくがきをかいたり、自分の手に墨を塗ったりして何度も先生を困らせていました。ですが、わたしが中学生になった頃、字がきれいに書けるようになってきてとてもうれしくて、もっとがんばろうと思うようになったのですが、次は部活が忙しくなってしまうと、週に一回のペースで行っていた習字も月に二回などに減ってしまいました。そのせいで、習字をしようと思った時にうまくかけず、段が全くあがらない時がありました。そんな時でも、先生はしっかり教えてくれてどんどんうまく書くことができるようになりました。そんな先生にわたしは感謝したいです。

これからも今よりうまく書けるようになるために努力していきたいです。そして家族の中で一番うまく字が書けるようになるために真剣にがんばります。

教養講座

【墨彩画講座】講師：久田萌玉先生（五月十四日）

八幡教室 橋本翠遊

墨彩画を受けさせて頂き、久田先生の巧みな熟練された筆さばきに感銘を受け、墨の濃淡、筆を入れる角度他、素敵…と思わず口に出していました。普段白・黒のモノトーンの世界で書道と向き合っています。そこに彩（いろどり）が入ることで、心うばわれ、うっとりとしてしまいました。しかし実際に自分が先生のお手本を見ながら取り組んでみると、難しく思い通りになりません。そんな時、先生は仰いました。

「墨彩画の良い所は、絵と字がそれぞれ助け合ってくれたり、引き立て合ったりするところですよ」そんなお言葉を頂いた私は益々墨彩画の世界に魅了されました。久田先生ありがとうございました。

【隷書講座】講師：山本華泉先生（四月九日）

今年の教養講座の第一回目として、隷書講座が開催されました。隷書は社名や酒のラベルなど普段私たちの生活でよく見かけます。中国の後漢の時代に公式に使われた書体で、それまで使われてきた篆書を簡略化・直線的に組みかえる中で生まれてきました。テキストを使用して、実際にどんな隷書があるか、日常生活で使われている隷書の写真などを見ながら学んでいきました。

実際に書きながら隷書の特徴を学んでいきました。波磔（はたく）や、水平な横画、始筆を逆筆で書くなど普段使わない筆遣いに皆さん初めは苦戦されていましたが、講師の山本先生がひとりひとりの席をまわって書きぶりを見ながら丁寧に指導してくださり、皆さん熱心に練習されていました。十一月五日には、山本先生の篆書講座が開催されます。



↑ (上) 刻字作品
(中) 墨彩画講座 風景
(下) 隷書講座 風景

【刻字講座】講師：披岸徹夫先生

六月十一日に刻字講座が開かれました。今回は、外部講師の披岸先生をお招きし、刻字作品の作り方についてご指導を頂きました。

あらかじめ自分で書いてきた文字を板に写して、のみや彫刻刀を使って木を彫っていきまし。のみを使うのは参加者の方々のほとんどが初めてで、始めは皆さん遠慮がちにのみで彫っておられました。しばらくすると、皆さんの打つ木づちの音が教室に響いて、夢中で作品を彫り進めておられました。

文字を彫り終わると、今度は色を付けました。色付けは作品の出来栄えに大きくかわってくと先生からご指導を頂き、参加者の皆さんは大変悩まれながら、作品に色付けをされていました。色を入れることによって作品の印象は驚くほど変わり、作られた皆さんも大変満足されておられたようでした。

この講座を受けなければ、このような経験をさせて頂くことはなかったと思います。改めてご指導頂きました披岸先生に感謝いたします。

「すった墨液を長期間保存できるの？」

奈良製墨組合 HP 墨のひみつ Q & A より

墨を磨った直後のすすの粒子は微粒子となつてごく薄い膠の膜につつまれ、水に浮遊しています。しかし長時間放置しておきますとすすを包む薄い膠の膜が次第にこわれ、すすとすすがくつきはじめ、大きな粒子になって行きます。こうなりますと、すすは水に浮遊できず、水とすすが分離してしまいます。

この状態を宿墨（しゅくぼく）と云います。宿墨になれば、墨の色はぐんと劣り悪い汚いにじみが出ることもあります。夏の気温の高い時は進行がはやく、七～八時間、冬は遅く一日位で宿墨が発生します。保存するには冷蔵庫で保存しますと、膠がゼリー状に固まりますので、使う時には、湯につけてさらっとした液にもどしてから御使用下さい。しかし宿墨はすた方が無難です。

奈良製墨組合ホームページ
墨のひみつ Q & A
<http://www.sumi-nara.or.jp/index4.html>

定期講座

◇調和体講座

J A 中洲教室 川田幸洲

岡田祖翠先生にご指導いただくようになって三年となりました。年六回の講座なのですが、前年から継続して受講しているメンバーが多く、和気あいあいと楽しく、なごやかな雰囲気の中で学んでいます。先生のお話も、書を深めるための日々の過ごし方や心構えから、墨紙筆についての具体的なご指導等と、幅広い内容のもので、書を書く私達にとって有意義なものです。今年も年度末の講座作品展では昨年に引き続き、半切、半切二分の一他、いろいろなサイズの作品に挑戦します。みんなの作品を合わせると「〇〇〇〇の歌」になるかも： 気持ちを整えて、今後の練習に励みたいと思います。

教室紹介

太田彰翠先生



日吉教室は東近江市五個荘に、彦根稲枝教室は J R 稲枝駅近くにあります。徒歩圏内の子たちは少なく、ご家族の送迎でお稽古にいられています。柴田先生より教室を引き継がせていただいていた一年半が過ぎました。当初、両教室合わせて四十名強の生徒たちに受け入れてもらえるか心配でしたが、杞憂に終わりました。変わりなく教室に通って、賑やかにわいわいと、けれど真剣にお稽古に取り組んでくれていきます。最近では落ち着きもできて成長をうれしく思っています。縁あって出会った生徒たちに書く楽しさを感じてもらえればと思います。上手いかないときは声をかけ手をとり、考えることをアドバイスして、よくできたときはいっぱい褒めて自信を持てるように、そして長く続けたいと思えるような指導を心がけ努力して参ります。

◇古筆講座

八幡教室 岩田佳楓

古筆講座では高野切、または元永本古今集を学んでおります。私は元永本古今集の臨書に挑戦しておりますが、なかなか思う通りに書けず、大変苦労しております。元永本古今集に挑戦している受講者は「難しいなあ」「どう書けばいいんやろう」と毎回四苦八苦しています。

たかが一文字、とは思いますが、その一文字の一本の線の微妙な変化をとらえる、と言うことがとても難しい課題です。

また、原寸で書く、ということも私にはとても難しいことで、だんだんと大きくなってしまい、お手本と比べるとはるかに大きく書きすぎてしまっている、というのが現状です。とても難しい課題ではありますが、属先生の親切で丁寧なご指導のもと、講座展に向けてますます受講者全員が頑張ろうと思います。

◆混陽書道展に向けて、混陽会員を対象とした臨書添削会を三回開催致しました。



↑臨書添削の様子

◇ 今後の予定 ◇

- 9/3 (日) 古筆講座
- 9/10~12 (日~火) 日展錬成会
- 9/16 (土) 教養講座④ 和綴じ
- 9/17 (日) 古典講座
- 9/18 (月/祝) 混陽展実行委員会
- 9/21 (木) 混陽展準備
- 9/22~24 (金~日) 混陽展
- 9/24 (日) 混陽展授賞式
- 10/1 (日) 調和体講座
- 10/8 (日) 教養講座⑤細字講座
- 10/14 (土) まほろば講座⑥
- 10/15 (日) 古筆講座
- 10/29 (日) 教養講座⑥墨彩画
- 11/5 (日) 教養講座⑦篆書
- 11/11~13 (土~月) 神戸講習会
- 11/12 (日) 教養講座⑧書道史 1
- 11/19 (日) 古典講座
- 11/26 (日) 教養講座⑨裏打ち

HP「鎌田舜英の書の展示室」の書道展情報のページに混陽書道展が掲載されています！
<http://brush.art.coocan.jp/index.html>



◆全国シルバー書道滋賀展と読売競書大会
【四月二十八日~四月三十日に大津市歴史博物館にて開催されました両展示会場の様子です】

【編集後記】混陽書道展まであと少しです！皆様の作品が新しい会場に並ぶのが楽しみです！ (M)